

# 平成31年度から令和3年度までの実施施策に係る政策評価書

(防衛省31～3-⑫)

施策名	衛生機能の強化					
施策の概要	<p>自衛隊員の壮健性を維持するとともに、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るよう、衛生機能を強化する必要がある。</p> <p>このため、隊員の生命を最大限守れるよう、第一線から最終後送先までのシームレスな医療・後送態勢を強化する。その際、地域の特性を踏まえつつ、南西地域における自衛隊の衛生機能の強化を重視する。また、自衛隊病院の拠点化・高機能化等により、効率的で質の高い医療体制を確立する。さらに、自衛隊の部隊の衛生に係る人材確保のため、防衛医科大学校の運営改善を始めとする取組や、戦傷医療対処能力の向上を含む教育・研究を充実・強化する。このほか、能力構築支援を含む様々な国際協力に必要な態勢の整備を推進する。</p>					
達成すべき目標	自衛隊員の壮健性を維持するとともに、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るよう、衛生機能を強化					
施策の予算額・執行額等	区分	平成31年度	令和2年度	3年度	4年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	0	0	0	0
		補正予算(b)	<36,871>	<34,261>	<43,776>	<33,532>
		繰越し等(c)		0	0	
		合計(a+b+c)		<5,201>	<2,978>	
	執行額(百万円)		0	0		
		<38,500>	<60,213>			

※ 下段〈 〉外書きは、複数の政策にまたがる予算及び複数の政策にまたがると整理できる予算であり、総額の「内数」で掲記している。  
 ※ 令和2年度に現政策体系に応じた予算の組み替えを実施済であるため、平成31年度については予算額のみ記載している。

施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	<p>中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)                  III-6-(2)衛生</p>
-------------------------------	--

測定指標	自衛隊員の壮健性を維持するとともに、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得る衛生機能の強化等		
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●南西地域における第一線から最終後送先までの衛生体制構築に関する検討を実施した。</li> <li>●国際感染症患者搬送に係る運用構想の具体化を図るため、各種要領の精緻化を行った。また、高機能型アイソレーターが納入された。</li> <li>●自衛隊病院の拠点化・高機能化を図るため、横須賀病院にあっては建替のための詳細設計を、福岡病院にあっては本体工事に伴う準備工事を開始するとともに、入間病院にあっては令和4年3月開設し、各病院の整備を着実に実施した。</li> <li>●人間病院(仮称)建設のための本体工事として約96億円(平成31年度:約41億円、令和2年度:約52億円、令和3年度:約3億円)、横須賀病院建替のため経費として約3.4億円(令和2年度:約1.1億円、令和3年度:約0.1億円、令和4年度:約2.3億円)、福岡病院建替のための経費として約0.6億円(令和2年度:約0.1億円、令和3年度:約0.3億円、令和4年度:約0.2億円)、を計上した。また、平素からの自衛隊の衛生運用に係る統制・調整を行うため、統合幕僚監部の組織機能強化を図った。</li> </ul>	各種事態時の実効的な衛生機能を確保するための態勢等を整備	③
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●陸上自衛隊衛生学校及び自衛隊横須賀病院において、第一線救護衛生員の教育訓練を継続的に実施した。</li> <li>●戦傷医療対処能力(患者後送含む)の維持・向上に繋がる教育訓練等(防衛医科大学校での研修、米国留学、国内外研修、実機を用いた机上医療訓練等)を継続的に実施した。</li> </ul>	実効的な衛生機能を下支えする教育基盤の整備	③	

		施策の進捗状況(実績)	目標	達成
測定指標		<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兼業先の拡充や通修制度の日教制限の撤廃といった研修及び診療機会の拡充を目的とした施策の利用を促進するために、防衛医科大学校病院で研修する医官や防衛医科大学校学生に対して教育を累次行った。</li> <li>・防衛医科大学校病院として7対1看護体制(看護師1名が入院患者7名を受け持つ体制)の導入に向けて、看護師の定員増、フルタイム非常勤の活用等による体制整備を行った。</li> <li>・看護官研修の充実を図るため、外傷患者等に対する救急初期対応能力等の向上を図る救急等看護技術研修に必要な基盤の整備を行った。</li> <li>・医官等の研修機会の拡大等を図るため、防衛医科大学校においてアナトミー・ラボの運用が開始された。</li> <li>・防衛医科大学校における研究機能の強化を図るため、令和2年度予算において防衛医学先端研究の研究分野・課題を4分野6課題から6分野11課題へ拡充した。</li> </ul> <p>●令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛医科大学校病院の運営基盤を改善するため、一般病棟の看護体制を10対1から7対1に移行(令和2年9月)し、医療及び医療安全の質の向上を図った。</li> <li>・外傷患者等に対する救急初期対応能力及び術前術後・集中管理能力の向上を図るため、防衛医科大学校の看護学科卒業後(3年目)の看護官の救急等看護技術研修を実施した。</li> <li>・防衛医科大学校内に整備した臨床技能教育研修施設(アニマル・ラボ、シミュレーション・ラボ及びアナトミー・ラボ)を活用し、自衛隊医官等の研修機会の拡大及び医療従事者の手技の技能維持・向上に寄与した。</li> <li>・令和2年度より拡充した防衛医学先端研究を着実かつ積極的に進め、防衛医学に係る研究力の強化の一層の推進を図るとともに、得られた研究成果を部隊運用等に繋げていくための活動を行った。</li> </ul> <p>●令和3年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症患者受入れ体制の充実強化を図るために看護師を増員させ、感染症対応における知見の蓄積等により、感染症対応の専門的知見を有する看護師の養成に寄与した。また、感染症病床を運営するための看護師を確保することで、感染症以外の臨床例も安定的に確保でき、優れた医官・看護官の養成のための充実した質の高い医療を提供することが可能となった。</li> <li>・外傷患者等に対する救急初期対応能力及び術前術後・集中管理能力の向上を図るため、防衛医科大学校の看護学科卒業後の看護官の救急等看護技術研修を実施した。</li> <li>・防衛医科大学校内に整備した臨床技能教育研修施設を活用し、自衛隊医官等の研修機会の拡大及び医療従事者の手技の技能維持・向上に寄与した。</li> </ul> <p>●医官の充足率</p> <p>医官の研修及び診療機会の確保に資する施策(兼業先拡充、通修制度改正等)の推進や防衛医科大学校の学生、医官等に対する研修及び診療機会の確保のための通修・兼業制度利用に関する普及教育の実施により、医官の充足率の向上(平成31年度末:87.7%、令和2年度末:89.8%)に寄与した。</p>	医官の低充足の改善と医官等の要員養成の充実・強化	③
			<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●衛生の将来体制の検討の資とするため、諸外国の衛生関係者との意見交換を実施した。</p> <p>●衛生機能の諸課題の解決に向けた諸外国の取組・体制整備等に関する調査研究を実施した。</p>	自衛隊衛生の将来体制の検討・整理

評価結果		(各行政機関共通区分) ③相当程度進展あり
	目標達成度合いの測定結果	<p>(判断根拠)</p> <p>●南西地域における衛生体制構築に関する検討を行うとともに、自衛隊病院の拠点化・高機能化を図るため、自衛隊各病院の整備を着実に実施する等、計画的に実施しており、目標に向かって着実に進展している。</p> <p>以上のことから、相当程度進展ありと判断した。</p>

評価結果	施策の分析	<p>●各目標に対して、以下の取組を行ったことにより施策の推進に寄与 ※()書きは目標</p> <p>(各種事態時の実効的な衛生機能を確保するための態勢等を整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年3月における自衛隊入間病院の開設の完了</li> <li>南西事態対処時の南西地域における中継拠点(那覇病院)及び航空機を用いた患者後送拠点(入間病院)の確立</li> <li>横須賀病院における建替のための詳細設計及び福岡病院における本体工事に伴う準備工事の開始による自衛隊病院の拠点化・高機能化に向けた各病院の整備の着実な実施</li> <li>各種事態に対処可能な統合運用を踏まえた衛生機能の強化のための統合幕僚監部の組織機能強化</li> <li>以上を踏まえた第一線から最終後送先までのシームレスな医療・後送態勢についての検討(継続検討)</li> </ul> <p>(実効的な衛生機能を下支えする教育基盤の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上自衛隊における平成29年4月からの陸上自衛隊衛生学校における第一線救護衛生員の養成の開始</li> <li>海上自衛隊における令和元年10月からの海上自衛隊横須賀病院における第一線救護衛生員の養成の開始</li> <li>航空自衛隊における令和4年度中の第一線救護衛生員の養成課程の開始予定</li> </ul> <p>(医官の低充足の改善と医官等の要員養成の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医官の早期離職防止を目的とした医官の研修・診療機会の確保に資する施策(兼業先拡充、通修制度改正等)の推進のための防衛医科大学校の学生及び医官等に対する普及教育の実施</li> <li>防医大病院における7対1看護体制への移行・継続、臨床技能教育研修施設の整備・活用及び医官等の研修・診療機会の拡大に努めたことによる医官の離職防止の一定の評価の向上</li> <li>令和2年度末における医官の充足率の89.8%への向上(過去10年で最低だった平成23年度末と比し約16ポイント上昇)</li> </ul> <p>(自衛隊衛生の将来体制の検討・整理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高まる自衛隊の国際協力のニーズに適確に応えるための海外任務・海外での医療支援活動における体制・態勢の構築、並びにそれに資する国際情報の収集・蓄積及び共有の強化に向けた検討の資とするための諸外国の衛生関係者との意見交換の実施</li> <li>衛生機能の諸課題の解決に向けた諸外国の取組・体制整備等に関する調査研究の実施</li> </ul>
	次期目標等への反映の方向性	自衛隊病院の整備、自衛隊横須賀病院等における第一線救護衛生員の教育訓練の実施、自衛隊医官の研修の拡大等、引き続き、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るよう、衛生機能の強化に取り組んでいく。

学識経験を有する者の知見の活用	施策は順調に進展しており、特に意見なし。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防衛省ホームページ</li> <li>○ 防衛白書(令和元年～3年)</li> <li>○ 我が国の防衛と予算(平成31年～令和3年)</li> </ul>

担当部局名	人事教育局	政策評価実施時期	令和4年6月
-------	-------	----------	--------

※ 「測定指標の達成欄」及び「評価結果」の「(各行政機関共通区分)欄」については、達成状況を以下の5段階区分の数字を記入。  
 ①目標超過達成、②目標達成、③相当程度進展あり、④進展が大きくない、⑤目標に向かっていない